

### 環境支援の場合

環境整備は、本来学校がすべきことです。学校支援ボランティアが希望している環境整備を実施する場合も、できるだけ先生や子どもたちと一緒に活動することを心がけましょう。ボランティアは、学校にとって都合のいい労働力ではありません。



#### (1) 花壇や学校農園の整備・除草・枝の剪定など

学校支援ボランティアが自主的に考えて活動します。整備して欲しい場所などがあつたら、相手の希望や気持ちを大切に、事前の打ち合わせで要望を伝えましょう。必要な道具の保管場所などは、わかりやすく整頓しておきましょう。

#### (2) 施設の修繕

施設の管理は学校の仕事ですが、地域には、修繕に適した技術を持っておられる方がおられます。安全点検時のチェック箇所を良く確認し、十分な打ち合わせをして、修繕にあたるようにするとよいでしょう。

#### (3) 図書室の管理・運営、読書普及

図書室の管理・運営には、多くの内容があります。本の貸し出し、整理・整頓、新刊図書を紹介、掲示物の作成等、活動する人の主体性を尊重し、どんな活動がしたいのか確認した上で、相談をしながら活動内容を決めましょう。

読書普及では、朝の活動等での「読み聞かせ」がすでに多くの学校で実施されています。先生方が打ち合わせをしている時間に活動することもありますので、時間や子どもたちとの約束事などをきちんと確認しておきましょう。

また、どちらの活動も図書委員会と連携して活動をすることができますので、図書委員会担当の先生との、話し合いの時間を作るとよいでしょう。

#### (4) その他の活動

教材教具の作成やビデオ編集、ホームページの更新等、その他の活動についても、連絡を取り合いましょう。活動内容によっては、学校支援ボランティアが自宅で行うこともありますので、期日や内容、原材料等の必要事項について必ず確認しましょう。